

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	青鬼地区集落保全と地域特産物生産継続事業
事業主体 (連絡先)	白馬村青鬼地区
事業区分	⑤環境保全、景観形成に関する事業 ⑥イ農業の振興と農山村づくり オその他地域の特色、個性を活かした産業振興
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	396,390円 (うち支援金: 302,000円)

事業内容

■中古コンバイン購入事業

青鬼地区では、白馬村の特産品「紫米」を生産しており、農地の保全、景観形成にも寄与していたが収穫機械のコンバインの故障により今年度の生産維持が困難な状況であった。そのため、中古コンバインを購入し、生産継続を図った。

■伝建散策案内

青鬼地区は文化庁の重要伝統的建造物群保存地区に指定されており、多くの観光客が訪れているが、散策経路の案内が十分でなく、立入り不可の棚田や石垣内に観光客が入ってしまうことがあり、導線の確保が課題であった。そのため、簡易案内所を設け、誘導を図った。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

■中古コンバイン購入事業

コンバインの購入により、特産品「紫米」の生産維持が図られた。また、生産継続による農地の保全や遊休農地の解消等、地域の農業振興・景観形成が図られた。

■伝建散策案内

誘導員の配置や案内所を設けたことにより、立入り不可の区域に入る観光客が減り、農地・文化財の保全につながった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

来年度以降も案内所、誘導員の配置を検討し、観光と農業の両立につなげたい。また、紫米の生産を維持し、今後も村内外に特産品をアピールしていきたい。



【購入コンバイン
による刈取り】

【目標・ねらい】

- ① 特産品の生産継続
- ② 地域の農地・景観の保全
- ③ 文化財の保全
- ④ 農業と観光の両立

※自己評価【B】

【理由】

紫米の生産維持が図られるとともに、農地・文化財の保全につながることができた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある